

地域シンポジウム報告書（概要）

中辺路地域シンポジウム	
日 時	平成19年8月28日(火)午後2時～4時30分
場 所	中辺路コミュニティセンター大会議室
参加者	市民 48名 講師:堀内秀雄教授 オブザーバー参加:東北大学大学院教育学研究科 石井山竜平助教授 和歌山大学生涯学習教育研究センター 中井邦昭主任
	事務局: 田ノ岡中辺路教育事務所長、一岡主任、中主査 田川分館長(栗栖川上)、広瀬分館長(二川)、野上分館長(近野) 生涯学習課～藤若課長、小川係長、三栖係長、松下主査、瀬戸主査 馬場崎主査、山下主査
テーマ	地域のことを話し合しましょう

シンポジウム進行次第

	内 容
	<p>開会あいさつ 中辺路地域シンポジウム実行委員会 委員長 田ノ岡孝</p> <p>ミニ講演 「いま、なぜ生涯学習計画なのか」 講師:和歌山大学生涯学習教育研究センター 堀内教授</p> <p>ワークショップ テーマ:「地域の課題・公民館の課題について」 「課題解決策・提案等について」 個人ワーク グループ討議 個人ワーク 意見交換と集約 報告 まとめ(堀内秀雄、石井山竜平)</p> <p>閉会あいさつ 田辺市教育委員会 生涯学習課長 藤若隆司</p>

中辺路地域シンポジウム

日時 H.19.8.28
場所 中辺路コミュニティセンター大会議室



地域シンポジウム報告書（班別）

中辺路地域シンポジウム

1班

	地域のこと	学習活動のこと
現状・課題	<p>若者定住</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者がいない。 ・若者の働く場がない。 ・若者が定住する土地がない。 <p>高齢者の生きがいが必要</p> <p>地域活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事に参加してくれない。 ・町内会活動の参加者が少ない。 ・役を持って参加しない人がいる。 	<p>高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブの60歳台加入者が少ない。 ・高齢化なのに仲間が減っていく。 ・指導者不足で役職者は苦勞が多い。 <p>サークル活動の会費負担が大きい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の高齢化、人数の減少。 ・講師が遠隔地。 ・旧町では補助があった。
解決策	<p>若者定住</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者が働ける場をつくる(緑の雇用など)。 <p>高齢者の生きがい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で高齢者が参加できる機会をつくる。 ・古紙回収活動 交流とボランティアの喜び。 ・ふれあいの場をつくる 地区集会所を開放する。 <p>地域活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人と人のつながりをつくっていくことが大切。 	<p>高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のことの と共通。 ・子供との交流を促進する。 ・地域に根付いた学校づくり。 <p>サークル活動の会費負担が大きい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各サークルに補助をできないか。
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・山、川、人を健康にしよう。 ・交通量の増加 児童の通学の安全を確保したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやる心の大切さを育ててほしい。

地域シンポジウム報告書（班別）

中辺路地域シンポジウム
2班

	地域のこと	学習活動のこと
現状・課題	<p>環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済基盤(産業の誘致、育成など)の整備。 ・携帯電話が通じない地域が多い。 ・公共交通、代行運転がない ・酒の出る交流ができない。 ・栗栖川地内の国道311号線が狭い。 ・防災無線に雑音が入る。 ・銀行、信金のATMがない。 ・整形、眼科医がない。 <p>行政問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラごみの回収が少ない。 ・行政が遠い。 ・旧町村地域に自治体内分権を与えないと地域の知恵を体系的に地域の力に出来ない。 ・新市における中辺路の役割の第一は水資源ということから、水源林の間伐を進めよ。 <p>過疎問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家が多くなったが貸してもらえない。 ・地域の物価が高い。 ・人口減で祭や清掃など地区活動の維持が困難 ・学校の奉仕作業も生徒数、家庭数が少なく行き届かない。 ・地域の人や家庭を知る機会がない。 ・子供の遊び相手が少ない。 ・女性会の会員が減少している。 	<p>参加者の固定化と高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習というネーミングがよくない。 ・サークル会員を増やしたい。 ・他の会の活動内容がわからない。 ・教室、サークルの参加者が高齢化している。 ・研修会、講演会等の参加者が固定化している。
解決策	<p>環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状を把握するための実態調査が必要。 <p>行政問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧町を単位とした政策を議論、実行するテーブルを設置する。 <p>過疎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公が関与して優良空き家を斡旋する。 ・中辺路ブランドを育成して特産物の販路を拡大する。 	<p>参加者の固定化と高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の情報交換、公開、交流を促進する。 ・アンケート調査でニーズにあった企画をする。 ・広報活動を強化する。 ・旧館報なかへち(A4版14頁)ぐらいの媒体を地域審議会で予算化し住民が編集して月1回発行してはどうか。
その他の意見		<ul style="list-style-type: none"> ・若いお母さん達が子育ての悩み等を話しあう場がほしい。

地域シンポジウム報告書（班別）

中辺路地域シンポジウム
3班

	地域のこと	学習活動のこと
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事の参加者減少 地域行事に若い人、子供の参加が少ない。 人の集まりが悪く、参加者が固定化している。 老人のくらし 災害時の安全確保 老人クラブの役員になり手がなく衰退している。 公共交通機関がなく買い物等が不便 環境問題 国道沿いの収集場所に分別されていないゴミが出されるので困る。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく年を取りたい。 認知症をふせぐ サークル活動 各サークルの活動の内容を知りたい。 サークルを子供達に紹介したい。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事の参加者減少 行事への参加は口コミで呼びかける。 参加について隣どうしで声を掛け合う。 行事の中で1人1人に担当を割り当てる。 1ターン者が溶け込めるきっかけをつくる。 昔のような隣組ができれば。 老人のくらし 玄関の鍵を信頼の出来る人に預ける。 コミュニティバスの路線、本数を増やす。 環境問題 各地で行政による分別の説明会をする。 無分別ゴミは地域外から持ち込まれているので収集場所を変更する。 ゴミは各家庭の家の前に出すようにする。 ゴミ袋に名前を書くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく年を取りたい。 健康で長生き出来るように食に関心をもつ。 老人が楽しく学習できる場をつくる。 老人クラブで食事サービスを利用しては、サークル活動 クラブやサークル活動の時間や内容を広報にのせて知らせる。
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄は地域の衰退につながる。 笑い話し合いが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のことを教えてくれる人がいれば学校で授業に協力して頂きたい。 合併後、スクールバスが活用しにくくなって行事には不便がある。 陶芸クラブの活動では、焼成や施設管理は一部の人に固定化している。

地域シンポジウム報告書（班別）

中辺路地域シンポジウム

4班

	地域のこと	学習活動のこと
現状・課題	<p>少子高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数の減少。 ・野球・ソフトボールの人集め困難。 ・まつり、芝居の伝統維持が困難。 ・こういう会に若い人の出席が少ない。 <p>地域福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスが変わり困っている人が多い。 ・町のデイサービスがなくなり淋しい。 ・健康のための運動をどう推進、定着させるか。 ・老人が安心して子供と交流できる場がほしい。 <p>地場産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中辺路特有の産物がほしい。 ・遊休農地の有効活用を考えてほしい。 	<p>サークル活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動の呼びかけ、参加依頼少ない。 ・若い人の参加少ない。 ・参加者が固定化している。 <p>学社融合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と社会教育の連携した学習が少ない。 ・学校をもっと利用して頂きたい。 ・交通手段の問題で参加が困難。 <p>交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人と人の出会いをもっと多く
解決策	<p>少子高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の定住策をすすめる。 ・若いひとが魅力を感じる内容を検討する。 ・若者の職場をもっと多くする。 ・義務教育期間の医療費を無料にする。 <p>地域福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧町村へのきめ細かい施策が必要。 ・町内会館を利用して老人の集まりを計画する。 <p>地場産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活研究グループやJAと相談する。 ・各人では難しいので地域で取り組む。 ・農作物の研究会をもつ場所づくり。 	<p>サークル活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報をしっかりとる。 ・若い人が参加しやすい体制づくり(預かり保育など)。 <p>学社融合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校開放月間に積極的に学校行事に参加を。 ・コミュニティバスをもっと多く出す。(スクールバスの活用も考えられないか) <p>交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみで環境美化や花づくり運動をする。 ・グラウンドゴルフで集まろう。
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・国道311号線の交通量が増え事故多発。危険箇所がないか各町内会で話し合う。 県に働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の地域活動への参加が少ない。

地域シンポジウム報告書（班別）

中辺路地域シンポジウム

5班

	地域のこと	学習活動のこと
現状・課題	<p>少子高齢化、過疎化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年金生活者の転入 地域になじもうとしない。 ・子供も先生も減って、学力低下が心配。 ・田植えなどを通して子供達と交流したい。 ・地域の高齢者の集まりが減少している(送迎がなくなった)。 ・合併しても人は少なくなるし、旧田辺との地域格差が広がっている。 ・空き家があっても貸家はない。 ・1人暮らしの老人の話し相手が無い、淋しい。定期的に誰かと話しがしたい。 <p>観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近野の町並みを保存したい。 ・案内板が不足している。 <p>環境問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人通りの少ない道が不安。 ・防災と環境の整備を。 ・ゴミ問題 	<p>文化の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化で後継者不足。 <p>地域活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前は近野に主事が常駐し、行事の寄付金集め等お世話してくれたが今はない。 ・合併で美術館の倉庫が使えなくなり、公民館活動が不便になった。青空公民館ではづらい。 <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は統廃合せず地域に残してほしい。 ・遊休農地の活用
解決策	<p>少子高齢化、過疎化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家は盆、正月の帰省場所となっている。 ・過疎地は公営住宅の収入条件緩和を。 ・老人ホームが出来たら雇用も生まれて地域の活性化につながるのでは。 ・Iターン者の雇用条件(賃金)向上を。 ・地域の集会所に老人が集えるようにできれば。 ・アイリスパーク(民間)の活性化。 <p>観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町並みを文化財にし保存する。 ・市の観光行政を強化充実させる。 ・近野マップをつくる。 <p>環境問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民ニーズの高度化、多様化に総合的な対処が必要になっている。 	<p>文化の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の協力が必要。 ・転入者と地域との交流の場にしていく。 <p>地域活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの組織づくり等必要。 ・近野振興会はもっとアピールすべし。 ・専門職員の育成と広域行政の強化が必要。 ・遊休施設を活用してほしい。 ・官民共同システムの構築 <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1村1校(宮崎県五ヶ瀬方式)も良いが、統合せず1校として活動するのがよい。 ・中辺路内の学区制を廃止してはどうか。 ・学校だよりは子供が配ってはどうか。 ・都会人の貸し農園にできないか。
その他の意見		

地域シンポジウム報告書（班別）

中辺路地域シンポジウム
6班

	地域のこと	学習活動のこと
現状・課題	<p>少子高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者が少ない。 ・高齢化が進んでいる。 ・生徒数が少ない。 ・一人暮らしが多い。 ・高齢者のことが心配。 ・伝統文化の継承が困難。 ・地域出身の先生がいない。 <p>交通手段</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通が少ない。 ・道の悪いところが多い。 ・交通手段がない老人が多い。 ・道路の危険性。 <p>つながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の寄り合いが少ない。 ・人が集まりにくい。 ・人と人とのつながりが薄くなっている。 (テレビの影響) ・地域格差を認識し解消してほしい。 (旧田辺との関係) <p>経済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事がない。 ・店が少ない。 ・何事にも金がない(地域経済)。 	<p>活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動がマンネリ化して尻すぼみになっている。 ・長続きしない。 ・イベントが多く忙しすぎる。 ・NPOの花壇の草ひきができていない。 ・後継者がいない。 ・自分がしたい活動の団体がない。 ・若い人たちのサークルがない。 ・学校行事に地域の参加を。 ・どんな活動があるか知らない。 ・デイサービスの低下が影響している。 <p>資金難</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動資金がなく困っている。 ・グラウンドゴルフの資金苦しい。
解決策	<p>少子高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致 ・緑の雇用者をもっと増やす。 ・温泉を整備活用する。 ・里親制度できないか。 ・山村留学。 ・都会の子とキャンプ交流してはどうか。 ・元気で老後を過ごしてもらおう。 ・福祉施策を充実させる。 ・60歳以上が働ける場所がほしい。 <p>交通手段</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通が少ない。 ・道の悪いところが多い。 ・交通手段がない老人が多い。 ・道路の危険性。 <p>つながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分達のことは自分達でという意識を高める。 ・町内会よりもっと小さな共同体をつくる。 ・ボランティア活動をすすめる。 ・文化の伝承が大切。 <p>経済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都会への宣伝が必要。 ・地域の良いところをアピールする。 	<p>活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しいイベントをする。(オープンカフェ等) ・ここでしかできないことで旧市内からも来てもらえるような様な活動を。 ・学校と公民館の連携を深める必要がある。 <p>資金難</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金の増額をしてほしい。
その他の意見	<p>・地域のことは地域で解決していく意識、機運を高める。</p>	<p>・祭(獅子舞)に子供達を参加させ、次世代を育成する。</p>